

(様式 2)

履 歴 書

年 月 日現在

(ふりがな) 氏 名 ○○ ○○	印 押印を お願い します。	生年月日 和暦 (西暦)	昭和○○年(△△△△年)○月○○日生 (△歳) (旧姓)
現 職 ◎◎大学 □□学部 講師	連絡先	電話 (000)-000-0000	
現 住 所 〒000-0000 ■■■市◇◇町△丁目×番地	電話(000)-000-0000		
学 歴 和暦 (西暦)	昭和○年 (△△△△年) ○月 ■■■高等学校卒業 昭和○年 (△△△△年) ○月 △△大学薬学部 入学 平成○年 (△△△△年) ○月 同 卒業 平成○年 (△△△△年) ○月 △△大学大学院薬学研究科 (○○系) 入学 平成○年 (△△△△年) ○月 同 修了		
学 位 和暦 (西暦)	平成○年 (△△△△年) ○月 博士 (××学) (△△大学 第○○号) 「○○○○○○○○に関する研究」 学位論文の題目を併記してください。		
免許・資格 和暦 (西暦)	平成○年 (△△△△年) ○月 薬剤師免許取得 (登録第○○○○○○○号)		
職歴・研究歴 和暦 (西暦)	平成○年 (△△△△年) ○月 △△大学 □□学部 助教 勤務 平成○年 (△△△△年) ○月 △△大学 □□学部 講師 勤務 平成○年 (△△△△年) ○月 ◎◎大学 □□学部 准教授 勤務 現在に至る		
賞 罰 和暦 (西暦)	平成○年 (△△△△年) ○月 ××学会 ◎◎賞受賞		

記 載 例

(様式 3)

著 書	
番 号	(単著) 著者、書名、総頁、発行所、発行地、発行年 (共著・分担執筆) 著者名、分担題目、書名、編者名、初頁～終頁、発行所、発行地、発行年
1	(単著) 華岡太郎* : 「卵巣の内分秘学」 総406頁、診断と治療社、東京、1995
2	(分担執筆) Herman R, Freedman W, Monster AW and Hanaoka T*: A systematic analysis of myotatic reflex activity in human spastic muscle. In “New Development in Electromyography and Clinical Neurophysiology” (Ed.) Desmedt JE, pp 556-578, S Karger, Brussels, 1994

原 著	
(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録などは含めない。)	
番 号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年、I F、C I
1	華岡太郎、和歌浦花子* : 糖尿病患者の色覚異常について. 糖尿病 33: 675-680, 1993
2	Wakaura H and Hanaoka T*: Sensory response of cortical neurons in the anterior ectosylvian sulcus, including the area evoking eye movement. Brain Research 575: 181-186, 1996 IF=2.389 CI=21

総 説	
番 号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年、I F、C I
1	華岡太郎* : 痛みの分子生物学—ペプチド発現と細胞性癌遺伝子. ペインクリニック 12:17-24, 1990
2	和歌浦花子*, 華岡太郎 : 動脈硬化巣におけるコラーゲンおよび関連酵素の分布. 動脈硬化 19: 601-604, 1991
3	Hanaoka T*, Wakayama H and Minakata K: Neurogenic control of cerebral circulation. Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 29: 1655-1667, 2009 IF=5.673 CI=96

記 載 例

学 会 発 表	
(国内学会、国際学会に分けて記載する。)	
番 号	発表者名、演題名、学会名、場所、年
	(国内学会)
	*シンポジウム
1	<u>華岡太郎</u> : Dynorphin(1-13)のモルヒネ鎮痛と耐性形成におよぼす影響. 第6回鎮痛薬オピオイドペプチドシンポジウム, 長崎, 1996
	*一般演題
2	<u>華岡太郎</u> : モルヒネ鎮痛の胎児脳形成に及ぼす影響について. 第3回脳神経学術集会, 大阪, 1996
	(国際学会)
	*シンポジウム
3	<u>Hanaoka T</u> , Saika M and Minakata K: Expression and regulation of neuropeptides in rat facial motoneurons. VII International Symposium on Facial Nerve, Cologne, Germany, 1992
	*一般演題
4	<u>Hanaoka T</u> , Saika M and Minakata K: Halothane constricts mesenteric artery transiently by releasing Ca ⁺⁺ from the sarcoplasmic reticulum. Annual Meeting of American Society of Anesthesiology, New Orleans, USA, 1992

加 入 学 会 お よ び 社 会 に お け る 活 動	
(主な学会名、役職名および学術雑誌の編集委員等を記入する。併せて、加入・活動期間等も記入する。)	
(加入学会)	
○日本××学会 (平成17年4月～現在)	
評議員 (平成24年4月～現在)	
○和歌山▲▲学会 (平成18年1月～平成20年12月)	
事務局責任者 (平成19年4月～平成20年12月)	
○近畿■■学会 (平成22年4月～現在)	
(学術雑誌の編集委員等)	
○ 日本学術振興会 ◇◇委員会専門員 (平成21年12月～平成22年11月)	
Brain Res. (平成23年4月～平成25年3月)	
(その他社会における活動)	